令和８年 11 月 13 日

課名	「森の芸術祭　晴れの国・岡山」 実行委員会事務局 （産業労働部観光課内）
担当・ 連絡先	宮﨑・杉本 内線 5964・5965 直通 086-226-7840

お　知　ら　せ

森山未來さんが高梁市成羽美術館でパフォーマンス！
～「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027 プレイベント～

「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027に向けた機運醸成のためのプレイベントとして、芸術祭参加アーティストである森山未來氏出演のパフォーマンス及びアフタートークを次のとおり開催します。なお、本件に関しては、県政記者クラブ、臥牛記者クラブに同時にお知らせしています。

記

１　プレイベントの概要

(1) 名　称
「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027プレイベント
森山未來　特別パフォーマンス＆トーク「あしたへ曳く」

(2) 開催日時
令和８年12月４日（金）16:30～18:00（受付16:00～）

(3) 会　場
高梁市成羽美術館（高梁市成羽町下原1068-3）

(4) 主　催
「森の芸術祭　晴れの国・岡山」実行委員会

(5) 出演者
①パフォーマンス
森山未來（俳優、ダンサー、「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027参加アーティスト）
監修：長谷川祐子（「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027アートディレクター）
②アフタートーク
森山未來、長谷川祐子

(6) 定員・参加費
50名（抽選）・無料

(7) その他
今回のイベント開催に伴い、下記のとおり美術館の開館時間を変更いたします。
12月３日（木）14:00 閉館、12月４日（金）終日休館

美術館全体を舞台にリーディング・パフォーマンスを実施します。里山や自然と人間の関係をテーマとする「詩」や「物語」を、森山氏が朗読しながら館内を巡ります。観客は、音や声に導かれながら、美術館の内外を回遊し、空間と一体となったパフォーマンスを体験します。パフォーマンス終了後には、アフタートークを実施。今回のパフォーマンスに込めた思いや 2027 年の芸術祭に向けた展望などを語ります。

―

かつて海の底だった高梁・成羽。
化石を抱く安藤忠雄設計の高梁市成羽美術館を、森山未來がひと筋の線を曳きながら歩く。
宮沢賢治の詩を声にのせ、館の内から外へ、水面をかすめ丘へとつながる動線に、見えない線を描いていく。
観客はその後を歩き、線の一部となる。農民のひと鍬を芸術と呼んだ賢治のまなざしのように、一歩ずつ未来を耕すプロトピアの身体詩。

２　申込先等

(1) 一般申込み

右記の二次元コードを読み込み、申込みをお願いします。

申込期間：11月13日（金）13：00～11月25日（水）17：00

※抽選結果については、11月27日（金）頃に**当選者へのみ**メールにて連絡します。

＜問い合わせ先＞

株式会社JR西日本コミュニケーションズ

TEL　(086)-223-5239（平日10:00～17：00）

※本日から受付開始

(2) 取材申込み（プレス関係者）

取材を希望される場合は、社名・人数・連絡先を12月３日（木）17:00までに当事務局に事前にご連絡ください。

※パフォーマンスの都合上、取材可能エリアからの撮影とさせていただきます。詳細については、当日ご説明いたします。

＜参 考＞

森山未來（もりやま みらい）



©Takeshi Miyamoto

俳優、ダンサー

「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027 参加アーティスト

1984 年、兵庫県生まれ。東京都、兵庫県を拠点に活動。
5 歳から様々なジャンルのダンスを学び、15 歳で本格的に舞台デビュー。2013 年に文化庁文化交流使として、イスラエルに 1 年間滞在、Inbal Pinto＆Avshalom Pollak Dance Company を拠点にヨーロッパ諸国にて活動。「関係値から立ち上がる身体的表現」を求めて、領域横断的に国内外で活動を展開している。

長谷川祐子（はせがわ ゆうこ）



キュレーター、近現代美術史家

「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027 アートディレクター

京都大学法学部卒業、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了、水戸芸術館学芸員、ホイットニー美術館客員キュレーター、世田谷美術館学芸員、金沢 21 世紀美術館学芸課長及び芸術監督、東京都現代美術館チーフキュレーター及び参事、金沢 21 世紀美術館館長を経て現職。